# 人事評価はどう行い、その効果は
## 面談を実施、人材育成につなげている



佐々木義昭
（21世紀の会）

**議員　当局では「人事評価」を誰がどのように行っているのか。それが、どのような効果を生み出しているか。**

市長　人事評価制度は人材育成、組織目標の達成及び公平・公正な処遇の実現を目的として、平成28年度から実施している。評価は、直属の上司による一次評価とその上位職による二次評価を年間4回ほどの面談を通し、人材育成につなげている。

　昨年度から外部講師による評価面談研修や目標設定研修を実施し、評価者の制度理解やスキル向上に取り組んでおり、人事評価制度に期待される効果を十分に発揮できる仕組みづくりができている。

**議員　当局が「検討する」としたハラスメント調査は。**

総務企画部長　令和8年7月29日から8月28日までの1カ月、全職員を対象に実施した。

**議員　調査結果の分析は。**

総務企画部長　現在集計、分析を進めている。

**議員　「公共施設等総合管理計画」の進捗は。**

総務企画部長　長期的な視点で更新、統廃合等を計画的に実施するため、平成29年3月に策定、令和6年11月に改訂して、計画的な管理に関する基本方針を整理している。公共施設等適正管理推進事業債を活用、解体後の跡地売却を含め、財政運営においても有利に解体事業を進めていく。



職員の相談窓口

# 教育現場の防火安全対策の見直しを
## 実動訓練を改め、安全管理に努めたい



細田孝子
（公明党）

**議員　東京都北区の小学校火災は、多くの教訓を残した。改めて、教育現場の防火安全対策の見直しが必要ではないかと考える。**

　**この度の火災では、教職員の初期消火や避難の在り方に課題があったとの報告がされ、①消火器による初期消火の遅れ②防火シャッター横のくぐり戸位置の把握が不十分③救助袋の使用方法が不明の3点が指摘されている。緊急時に的確に行動するには普段からの訓練や危機管理意識が重要と考えるが、当市教職員の訓練状況について伺う。**

教育部長　訓練状況や救助袋の使用状況について、改めてアンケート調査を行った。その結果から、救助袋を広げての実動訓練や防火扉等を閉じた状態での訓練は実施していないことがわかった。そのため、教職員に向けた救助袋の操作手順を学ぶ講習会の実施や、避難訓練の実動で適正な避難経路で避難できるような訓練など、消防職員等、立ち会いのもとによる訓練実施に向け、現在、調整している。

　設備があっても使えない、避難経路が確保されていてもその動線がわからない、防火扉が閉じた途端に迷うようなことがないよう、学校現場の適切な安全管理に努めたい。



小佐野小学校の防火扉